

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年12月25日(2014.12.25)

【公開番号】特開2013-78097(P2013-78097A)

【公開日】平成25年4月25日(2013.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2013-020

【出願番号】特願2011-254631(P2011-254631)

【国際特許分類】

H 04 N 19/50 (2014.01)

H 04 N 13/02 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/137 Z

H 04 N 13/02

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月6日(2014.11.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

異なる視点から撮影した複数の視点画像を符号化する画像符号化装置であって、
前記複数の視点画像の視差値を算出するためのパラメータに対応する情報を符号化する
情報符号化部と、

前記複数の視点画像に対応する少なくとも1つ以上の奥行き画像と前記情報に基づいて
視差情報を生成する視差情報生成部と、

符号化を行う視点画像に関して、異なる視点画像に対する予測ベクトルを、符号化対象
ブロックに隣接する周辺ブロックの視差ベクトルに基づいて生成し、該予測ベクトルを用
いて視点間予測符号化方式によって符号化を行う画像符号化部とを備え、

前記画像符号化部は、前記周辺ブロックにおいて、符号化対象ブロックの予測ベクトル
生成に必要な情報が得られないブロックに対して、前記視差情報に基づいて視差ベクトル
を決定することを特徴とする画像符号化装置。

【請求項2】

前記奥行き画像を符号化する奥行き画像符号化部を更に備えることを特徴とする、請求
項1に記載の画像符号化装置。

【請求項3】

異なる視点から撮影した複数の視点画像を復号する画像復号装置であって、
前記複数の視点画像の視差値を算出するためのパラメータに対応する情報を復号する
情報復号部と、

前記複数の視点画像に対応する少なくとも1つ以上の奥行き画像と前記情報に基づいて
視差情報を生成する視差情報生成部と、

復号する視点画像に関して、異なる視点画像に対する予測ベクトルを、復号対象ブロッ
クに隣接する周辺ブロックの視差ベクトルに基づいて生成し、該予測ベクトルを用いて視
点間予測復号方式によって復号を行う画像復号部と、を備え、

前記画像復号部は、前記周辺ブロックにおいて、復号対象ブロックの予測ベクトル生成
に必要な情報が得られないブロックに対して、前記視差情報に基づいて視差ベクトルを決
定することを特徴とする画像復号装置。

【請求項 4】

前記奥行き画像は符号化されており、
前記画像復号装置は、前記奥行き画像を復号する奥行き画像復号部を更に備えることを特徴とする、請求項3に記載の画像復号装置。